



**高校三年間は、進路を考える三年間です!!**

**高校での過ごし方が、将来の生き方につながります!!**

### 進路の考え方や選び方

「どんな大人になりたいですか?」、「将来、社会人になって何をしたいか。」、「なぜ勉強しなければならないの?」、「学歴って必要なの?」の質問にすぐ答えを出せる生徒は、少ないかもしれません。ただ、このことを今から考えておくか否かで将来に大きな差をもたらすものとなります。

#### ○勉強して将来役に立つの?

社会に出てからも勉強で鍛えられた能力は必要となります。国際化・情報化の進む社会の中で英語がますます必要とされています。どんな仕事に就くにせよ専門用語・専門知識や作業手順を覚える場面も多くなります。目標に向かって計画的に物事を進める力は、どんな仕事でも必要となってきます。いくつかの仕事をかかえ、優先順位をつけて、処理しなければならない場合も増えてきます。

ですから、高校での授業の知識だけでなく、勉強することへの取り組み方や姿勢をどのようにして高校生の時につくり上げるかで、将来において大きな差が出てきます。

#### ○学歴って何のためにあるの?

学歴は社会に出てからもついて回り、偏差値がより上位の学校へ行っただけが有利な面が多いといえます。なぜでしょうか。それは、「学歴はどれだけ頑張ったかを示す指標の一つ」となるからです。頑張ったことが評価されるという意味では公平な面があるといえます。

限られた高校生活の中で、部活動など勉強以外のことに打ち込むことも大事なことです。勉強をおろそかにしないで頑張り、上位の学校へ進学することが将来の選択の幅を広げていきます。部活動と勉強の両立は、なかなか難しいことです。難しいことにチャレンジするからこそ成し遂げたときに、自分で自信が持てますし、会社や学校が高い評価をしてくれます。

#### ○選択科目は進路決定の大事な転換点

1学期中に、1・2年生は次年次の選択科目の説明があり、自分の進路希望に沿って選択科目を決めなければなりません。選択した科目によっては、最終での調整ができない場合もあるので注意をしてください。

「進学するか、就職するか」は、やりたい仕事が、進学して資格を取らなければ就けない仕事なのかによりまずなので、詳しく調べてみましょう。次に「大学にするか、短大にするか、専門学校にするか」、「理系にするか、文系にするか」の選択は、将来やりたい仕事はどのようなものかを考えることが大切です。

とはいってもやりたい仕事が決まっている生徒はあまりいません。まずは理系(文系)でないと就けない仕事、理系(文系)だと有利な仕事を調べていきましょう。つまり理系を選ぶことは、文系じゃないと就けない仕事を将来の仕事の選択肢から外すこととなります。自分が選ばなかったほうに自分のやりたい仕事がないようにしたいものです。

選択科目は、嫌いな科目だから苦手な科目だからとその科目を外して安易に選択しないこと。友達に流されたり、勉強がラクだからといった理由で選ばないこと。しっかりと勉強に目を向け、真剣に取り組み、将来を見据え、判断していきましょう。文理選択を間違えた場合は、独学で勉強したり、社会人になって学びなおしたりすることは可能ですが大変な労力と時間がかかります。

## ○進路を選ぶ前に

「将来どのような生き方をしていきたいか」、「自分はどのような人間になりたいのか」の答えを見つけるためには「自分が社会とどう関わっていきたいか」を考えることとなります。自分と社会との関わりについて、次の事項を参考にしてみてください。

最近、企業・学校などではSDGsに関わる仕事や研究・実践例が多く、新聞記事やテレビのニュースでも取り上げられています。「SDGs（エスディージーズ）」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた国際社会共通の目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



この17の大きな目標の中で、自分で興味を持ったり、やってみたいことがあれば、“自分の夢”や“自分と社会の関わり”につながります。進学した学校や就職した企業で少しずつ取り組んでいけば、自分らしい生き方が見つかるかもしれません。また、大学進学を考えている生徒は、興味を持った目標やテーマを深く調べてみることも志望校や学部・学科を決める一因になると思います。

## ○自分の将来を見据えて

生徒自身を取り巻く環境は、保護者や教員の若い頃と違って大きく変化しています。このような時代を過ごしていくには、自分自身を見失わないための自分の指針である「軸」＝“夢”が必要になってきます。

自分の夢を具体化するためにも、「自分のやりたいこと」を見つけ、「自分がどの仕事に向いているか」を調べ、「自分が仕事に対して何を求めているか」や「社会に貢献するためには何ができるか」を考えましょう。

夢をかなえるために必要な四つの力を学校生活を通して身につける努力をしていきましょう。

**主体的行動力**…多くの情報を収集し、的確に分析し、将来を予想していく情報との付き合い方を知った上で、自ら課題を見つけ、考え、工夫して仕事を行う力を身につけましょう。

**チームワーク力**…仕事は一人でするものではなく、職場の人たちや取引先などと協働して行います。自分の伝えたいことや理解してほしい内容を論理的に伝えみんなで協力して課題を解決していく力が必要になります。

**自己管理能力**…社会では冷静に判断して着実に仕事を進めていくために時間や一時的な気持ちに左右されず先を見据えて感情を管理する力を身につけましょう。

**臨機応変力**…自分の意見を持ち「夢」の実現に進んでいく一方で、情報や経験を得て変化の激しい時代に柔軟に対応できる力も必要になってきています。

すべてを高校生活で身につけられるものではありませんが、学校生活を充実させるよう努力していきましょう。

参考文献 『高校の勉強のトリセツ』学研プラス

『大学選びをはじめからていねいに』東進ブックス